

令和2年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 最終)

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	B	想定外のコロナ禍による取組の制限等によって, 当初の目標, 指標通りに進められなかったことにつながり, その中でも工夫を加えられていた。
目標達成のための方策の適切さ	A	生徒に取組のゴールを意識させる方策(〇〇運動とか見える化など)を工夫されていて, 適切であった。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	各種アンケートを実施され, 結果を表やグラフで表すことによって, 適切な分析となっていた。
今後の改善策(案)の適切さ	A	自己評価の結果と分析を受けて, 課題解決に向けた具体的な改善策が示されている。
その他		次年度は, 中学校での生徒や教職員が頑張っておられる姿を少しでも拝見させてもらい, 小学校の取組の参考にしていきたい。 コロナ禍で大変ですが, これを機会に考え方を見直してください。 デジタル技術を上手く使いこなして, 働き方や学び方をスムーズにできるようにする。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員と生徒に一人一台のタブレットが導入されることにより, 効果的に活用できるように準備を進める。 ○タブレットの活用により, 働き方改革と業務改善が進むような方法を考えていく。 ○主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と学習評価の改善に向けた取組を, 一層進めていく。 ○コロナ禍における学校運営は, 来年度も続いていくと考えられるので, 現状でもできることを模索しながら工夫をしていく。
--------------------	--